

Windows 2000で使用する時のご注意

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ここでは、弊社製 USB-DM560 を Windows 2000 で使うための手順について説明しています。

**まず、弊社ホームページ上から、最新のサポートソフトを
入手し、サポートソフトディスクを作成してください。
(詳細は弊社ホームページをご覧ください。)**

もくじ

インストール編(必須)

本製品を Windows 2000 で使用するときは、必ず、行ってください。

- ・ サポートソフトのインストール・・・・・・・・・・ P3
- ・ インストール終了後の確認と設定・・・・・・・・・・ P9
- ・ インストールした情報を削除する場合・・・・・・・・ P16

インターネット編

- ・ インターネットを楽しむまでの手順・・・・・・・・ P21
- ・ ダイアルアップ接続の設定・・・・・・・・・・ P22
- ・ インターネットを楽しもう・・・・・・・・・・ P30

困ったときには

- ・ インストール時のトラブル・・・・・・・・・・ P37
- ・ インターネット接続時のトラブル・・・・・・・・ P39
- ・ その他のトラブル・・・・・・・・・・ P42
- ・ 補足 1 : AT コマンドによる通信の動作確認・・・・ P43

《インストール編》 サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、はじめて本製品を取り付けたときだけ行います。
次回からは、パソコンを起動すれば本製品を使用できます。

- 1 本製品と電話回線(モジュージャック)との接続を確認後、
パソコンの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。

- 2 パソコン(または USB ハブ)の USB A ポートに、USB ケーブルの
USB A コネクタを差し込みます。

Windows 2000 が本製品を自動的に検出します。

※USB A コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

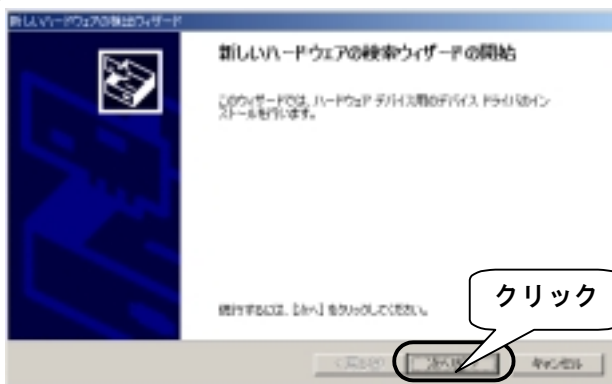
USB A コネクタを最後まできちんと差し込むと、本製品の PW ランプが点灯するので、確認してください。



注意！

1. パソコン(または USB ハブ)の USB A ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。
2. USB ハブに接続する場合、必ず USB ハブに AC アダプタを付けて電源を供給してください。

- 3 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

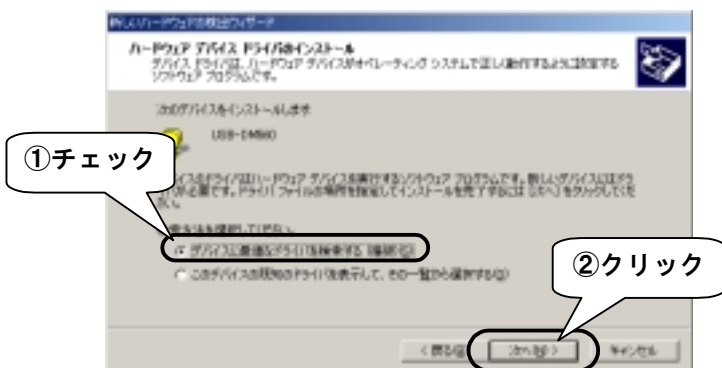


このインストール画面が
表示されない場合は…

【困ったときには】
本書 P37 をご参照ください。

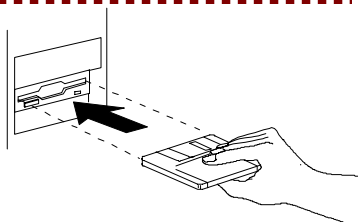
4

[デバイスに最適なドライバを検索する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



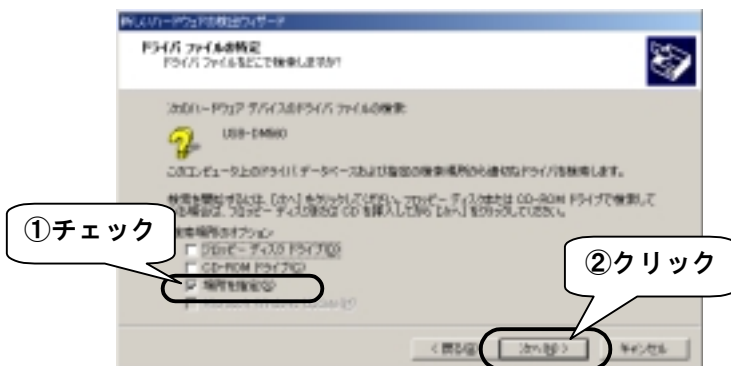
5

弊社ホームページより入手・作成した
[サポートソフト]ディスクを
フロッピーディスクドライブに
セットします。



6

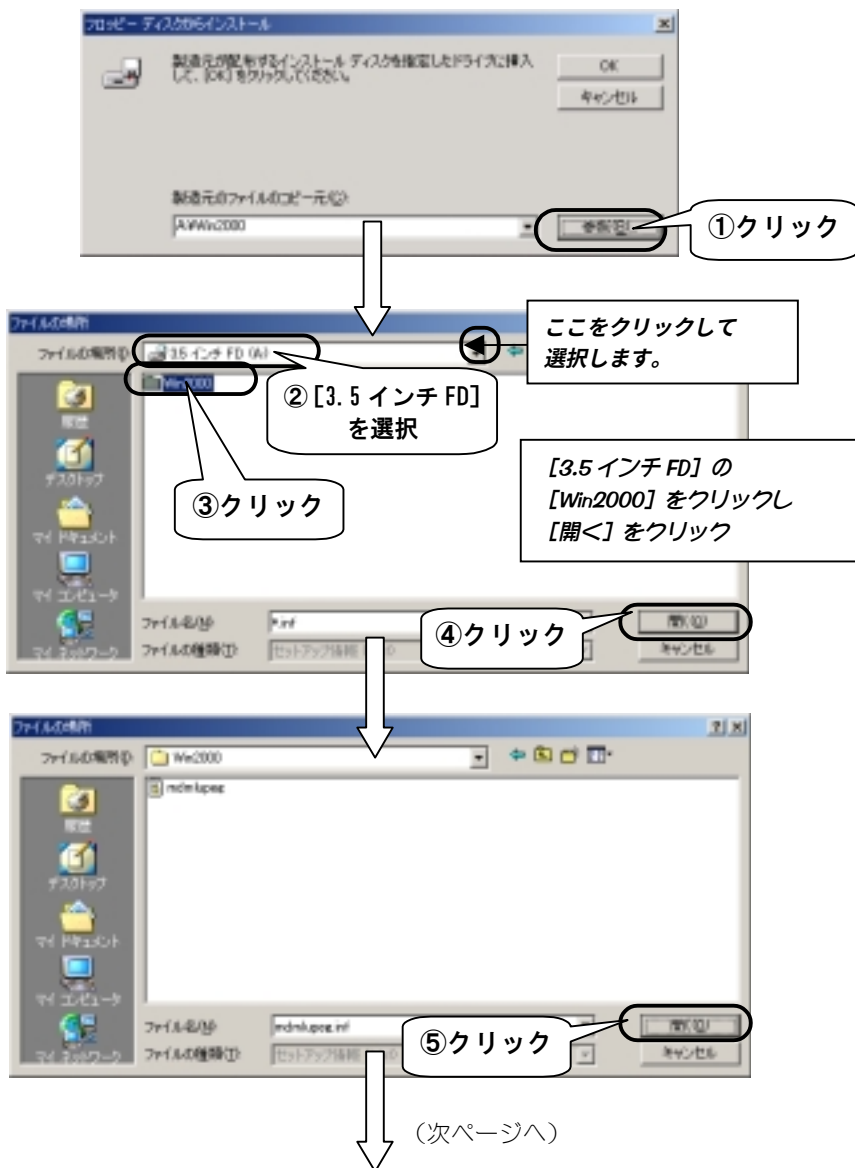
[場所を指定]のみをチェックし(その他の項目のチェックは外してください)、[次へ]ボタンをクリックします。



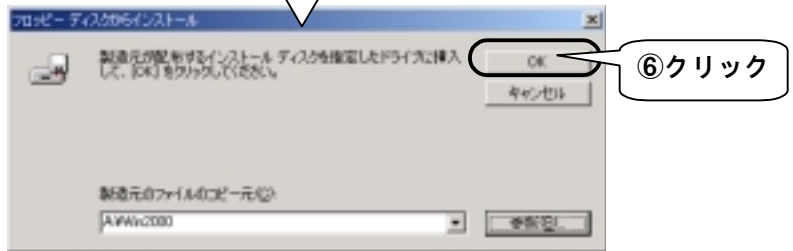
7

[参照]をクリックして、[3.5 インチ FD] (ここでは A:) 内の「Win2000」を指定します。

指定後、[OK]ボタンをクリックします。

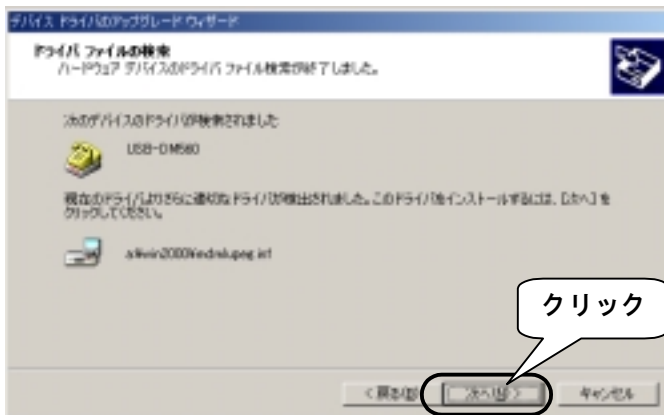


(前ページからの続き)



8

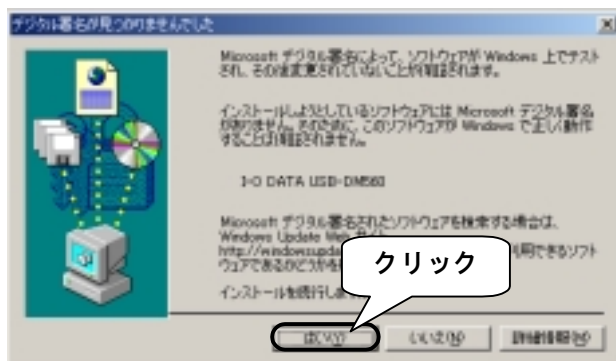
[次へ]ボタンをクリックします。



9

以下の画面が表示されますが、[はい]ボタンをクリックします。

弊社製 ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いという、メッセージが表示されますが、そのまま続行します。



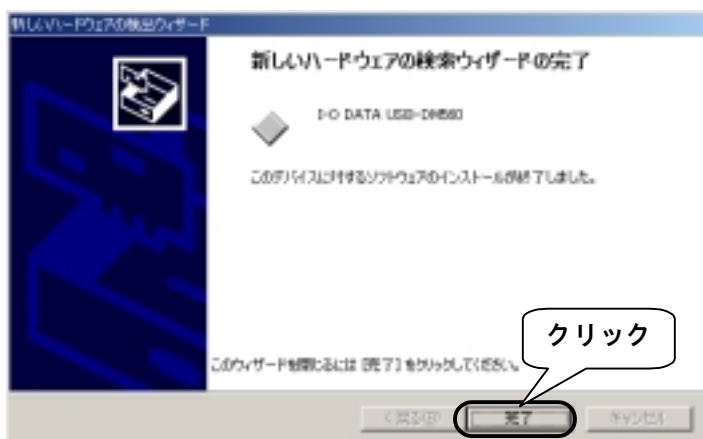
参考

マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

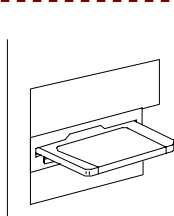
10

[完了]ボタンをクリックします。



11

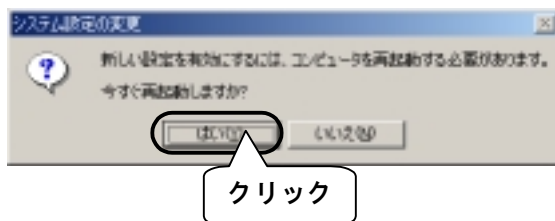
以上でインストールされますので、
「サポートソフト」ディスクを
取り出してください。



12

以下の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

表示されなかった場合は、手動でパソコンを再起動してください。



以上でインストールは終了です。

次は正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。

次ページ【インストール終了後の確認と設定】へお進みください。



《インストール編》 インストール終了後の確認と設定

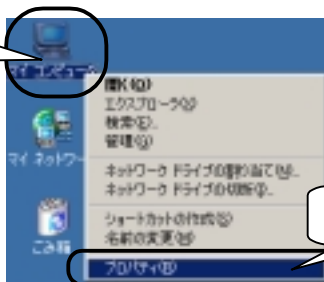
インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識したかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

デバイスマネージャによる確認と設定

1

[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

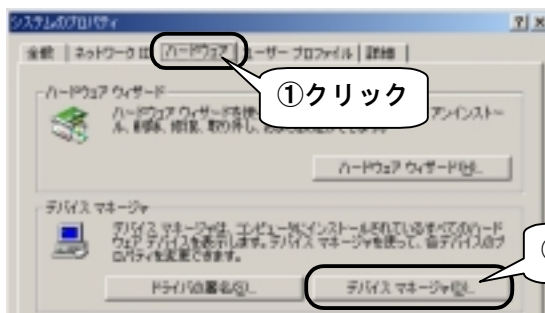
①右クリック



②クリック

2

[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。

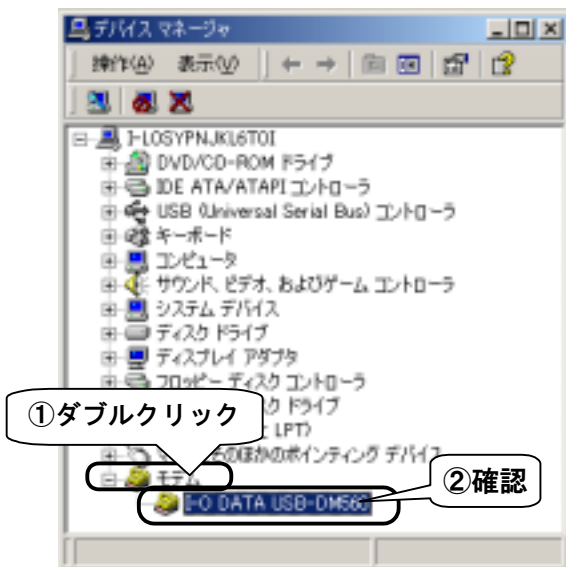


①クリック

②クリック

3

[デバイスマネージャ]画面の[モデム]をダブルクリックして、「I-O DATA USB-DM560」が表示されていることを確認します。また、頭に「！」マークが表示されていないことも確認します。確認後、画面を閉じてください。



「I-O DATA USB-DM560」が表示されない、あるいは頭に「！」マークがある場合は…

【困ったときには】
本書P38をご参照ください。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次にモデムとしての設定を行います。

モデムの確認と設定

1

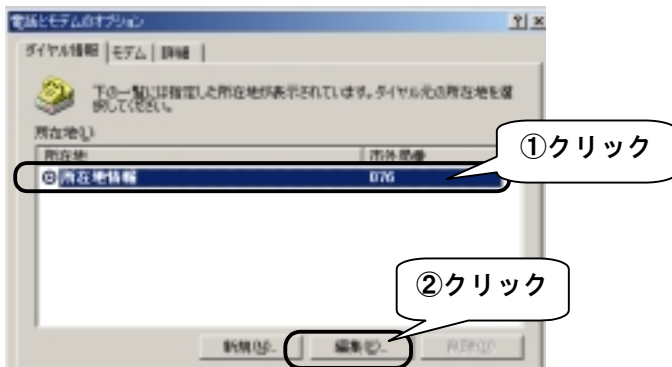
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

初めてモデムのインストールをする場合は、[所在地情報]の画面が表示されることがあります。
次ページ手順3を参照して、必要な情報を設定します。



2

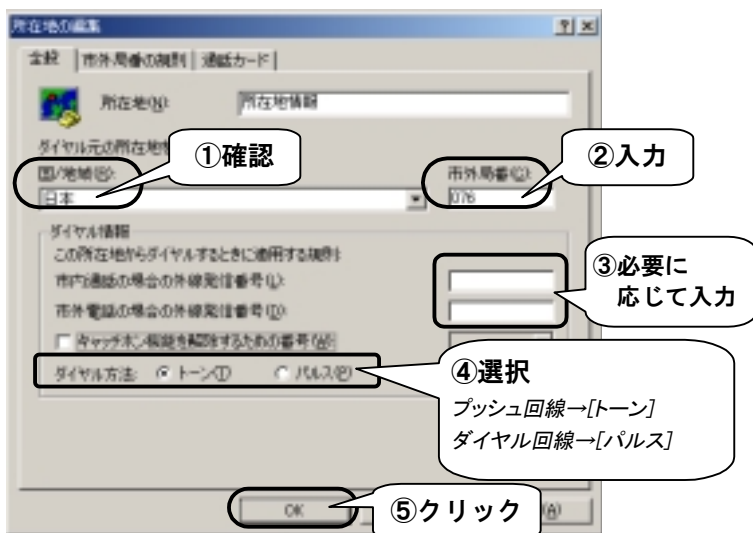
[所在地情報]をクリックし、[編集]ボタンをクリックします。



3

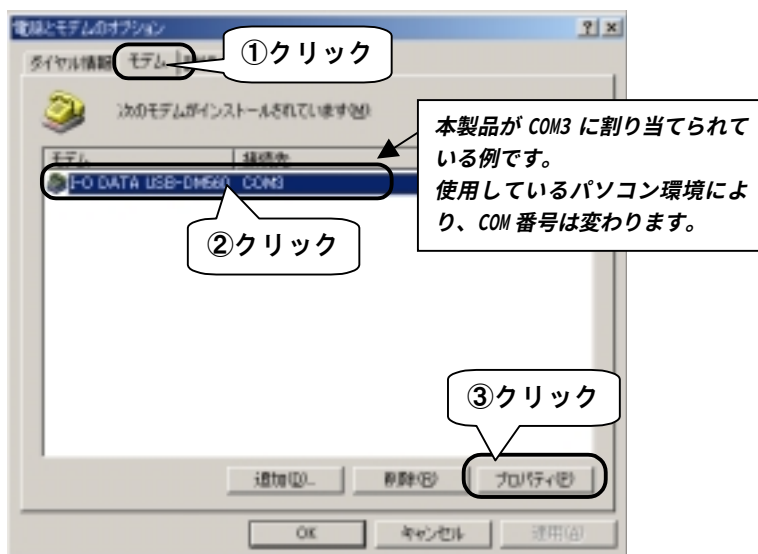
[全般]タブで、必要な情報を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

No	項目	設定内容
①	国/地域	[日本]であることを確認
②	市外局番	お客様の市外局番を入力
③	外線発信番号	「0(ゼロ)発信」などの回線の場合に「0」(ゼロ)を入力 ※「キャッチホン機能を解除するための番号」チェックボックスには、チェックしないでください。
④	ダイヤル方法	プッシュ回線なら「トーン」 ダイヤル回線なら「パルス」



4

[モデム]タブをクリックし、[I-O DATA USB-DM560]、続けて
[プロパティ]をクリックします。



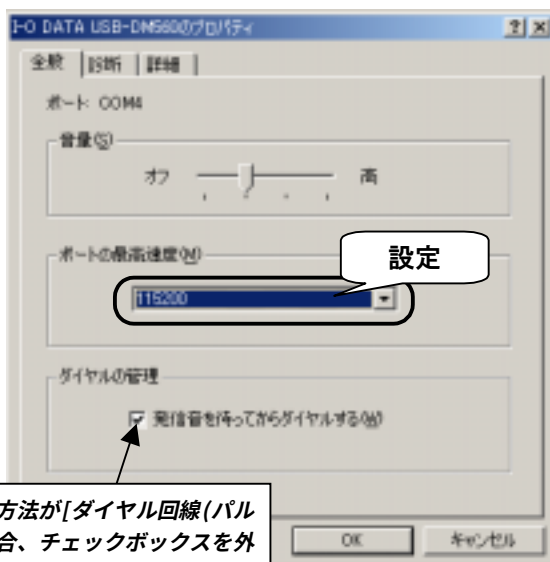
「I-O DATA USB-DM560」が
表示されない場合は…

【困ったときには】
本書 P38 をご参照ください。

5

[全般]タブで、[ポートの最高速度]を、選択肢中で一番速い速度に設定します。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度(115,200bps が望ましい)を設定しておく、最大パフォーマンスが引き出せます。



ダイヤル方法が[ダイヤル回線(パルス)]の場合、チェックボックスを外してください。



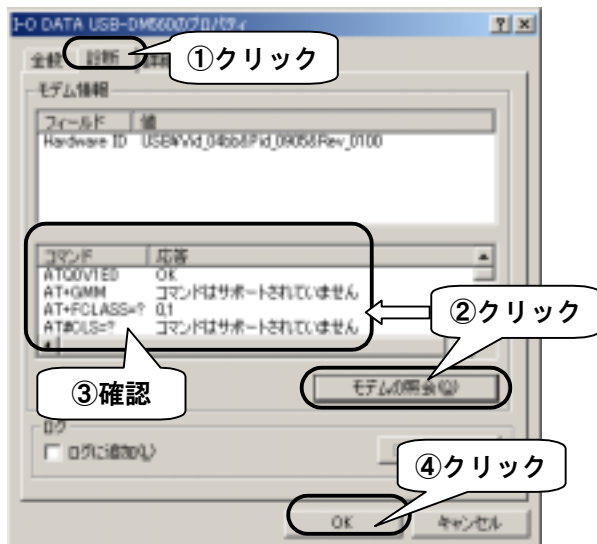
参考

ここで設定する速度は、端末速度(パソコンとモデム間の速度)です。

[診断]タブをクリックし、[モデムの照会]をクリックすると、しばらくして下記のように表示されます。

確認後、[OK]ボタンをクリックします。

※[コマンド][応答]の部分が真っ白ではなく、「AT……」と英数字が表示されたら、本製品は正常に認識されています。



モデムの確認で「ポートが開けません」
など表示された場合は…

【困ったときには】
本書P38をご参照ください。



注意！

この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話回線を介して接続するテストではありません。



[OK]ボタンをクリックし、[電話とモデムのオプション]画面を閉じます。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。

1度これらのインストールを行えば、今後はパソコンを起動するだけで使えるようになります。

本製品の使用を中止したいときや、もう1度インストールをやり直したいときは、次ページからの【インストールした情報を削除する場合】をご参照になり、サポートソフトのアンインストールを行ってください。

本製品でインターネットを楽しみたい方のために、P21【インターネットを楽しむまでの手順】からP30【インターネットを楽しもう】では、インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。



《インストール編》

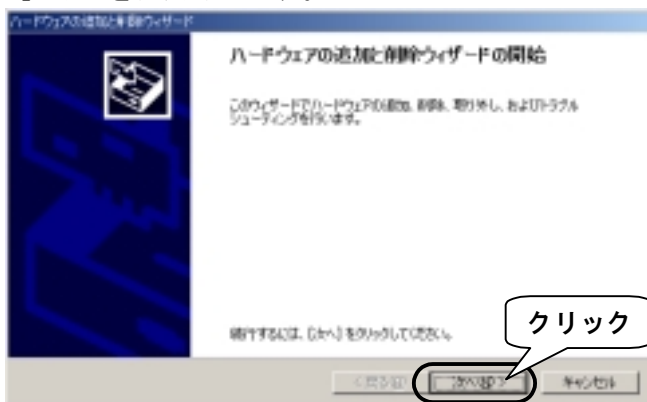
インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を中止したいときや、インストールをもう1度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

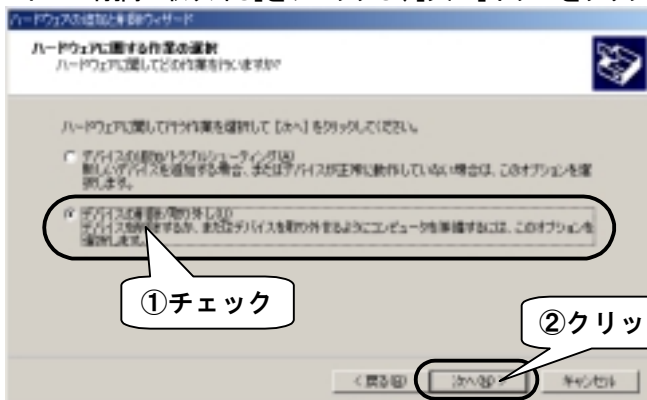
1 パソコン(またはUSBハブ)のUSB Aポートに、本製品のUSB A コネクタを差し込みます。

2 『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』を順にクリックし、『ハードウェアの追加と削除』アイコンをダブルクリックします。

3 [次へ]ボタンをクリックします。

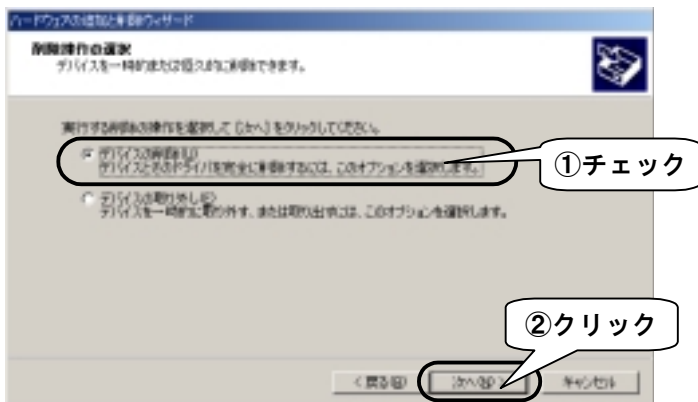


4 [デバイスの削除/取り外し]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



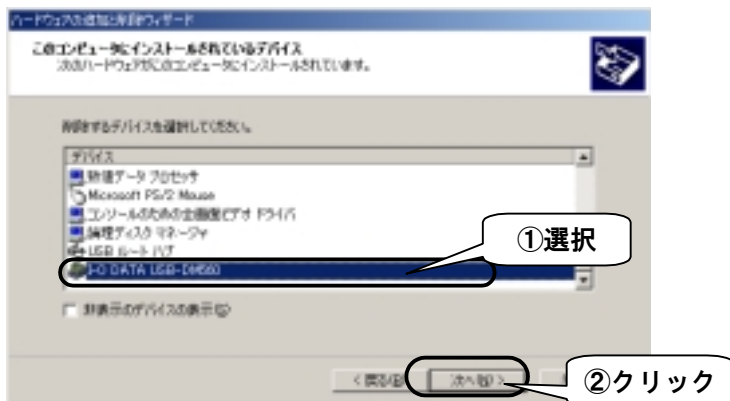
5

[デバイスの削除]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



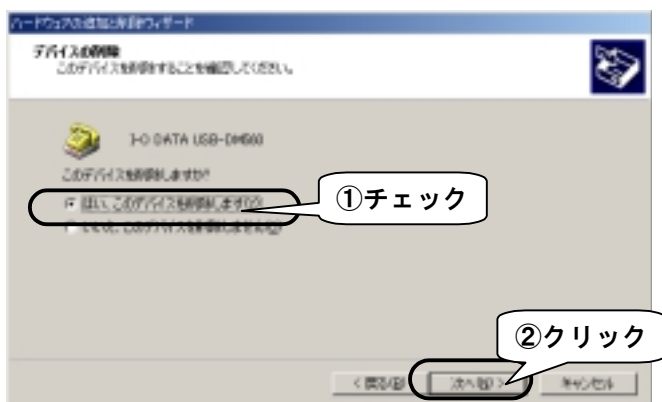
6

[I-O DATA USB-DM560]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



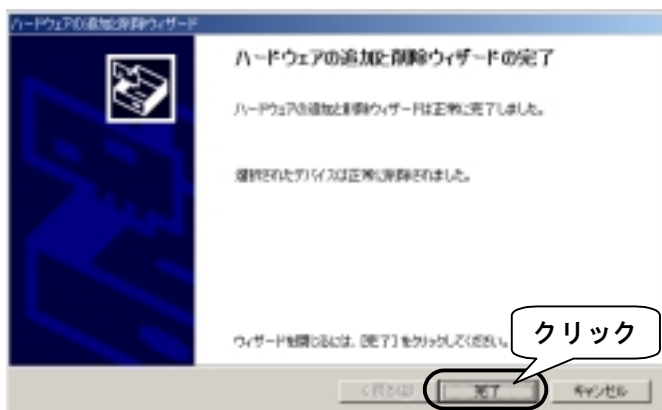
7

[はい、このデバイスを削除します]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



8

[完了]ボタンをクリックします。



9

『スタート』→『検索』→『ファイルやフォルダ』を順にクリックします。

以下を入力し、[検索開始]ボタンをクリックします。

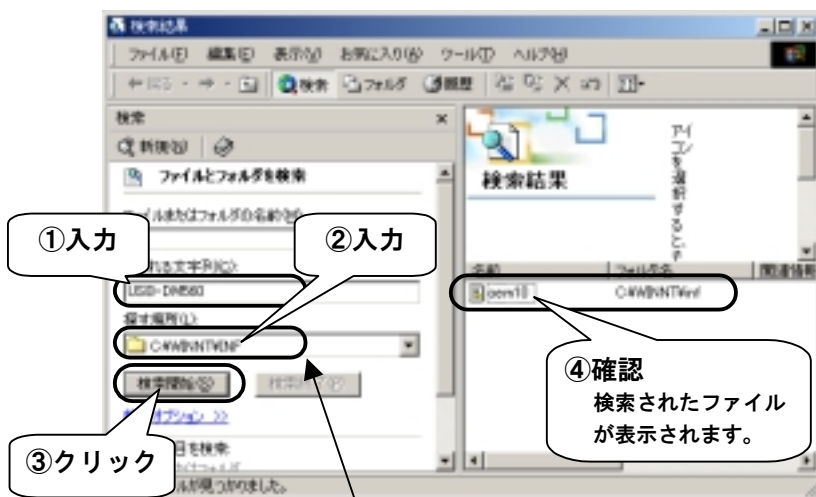
[含まれる文字列] : USB-DM560

[探す場所] : C:\WINNT\INF

(Windows 2000 が WINNT フォルダにインストールされている場合)

検索後、検索されたファイルが表示されます。

※画面例では OEM10 が検索されていますが、ファイル名はお使いのパソコンにより異なります。



[探す場所]の入力方法

- ① 探す場所に既に表示されている項目 ([ローカルディスク] 等) をクリックします。



- ② [Delete] キーでその項目を削除します。
- ③ 削除後 C:\WINNT\INF を入力します。

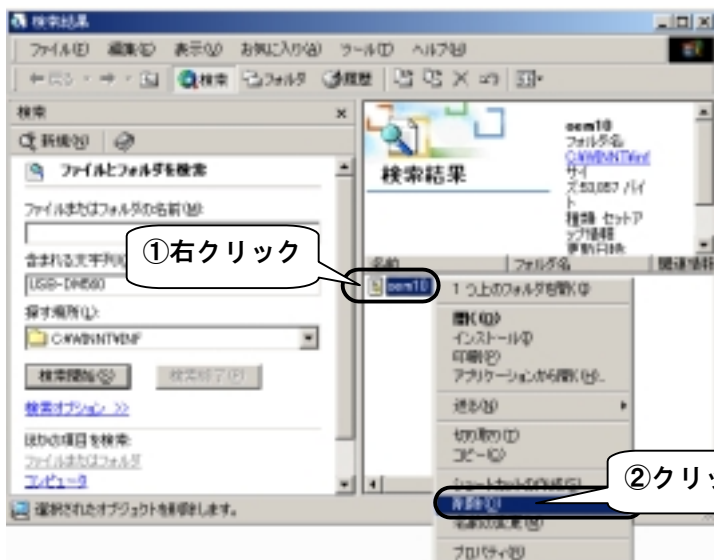


注意 !

1. 検索には、お使いのパソコンにより数分かかる場合があります。
2. 検索されるファイル名は、お使いのパソコンにより異なります。(上記画面例では、OEM10 のファイルが検索されています。)

11

検索されたファイルを右クリックし、表示されたメニュー内の[削除]ボタンをクリックします。



12

本製品を USB ポートから取り外し、Windows 2000 を再起動します。
[スタート]→[シャットダウン]を順にクリックし、[Windows のシャットダウン]画面で[再起動]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

以上で、インストール情報の削除（アンインストール）は終了です。



《インターネット編》 インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。ご使用のパソコンでインターネットを行ったことがある場合は、次ページ【ダイヤルアップ接続の設定】から行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。

契約後、接続のためのユーザー名、パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。



ダイヤルアップ接続の設定（P22）

本製品を使ったダイヤルアップ接続を設定します。

本製品をはじめて使う場合は必ず行ってください。



インターネットを楽しもう（P30）

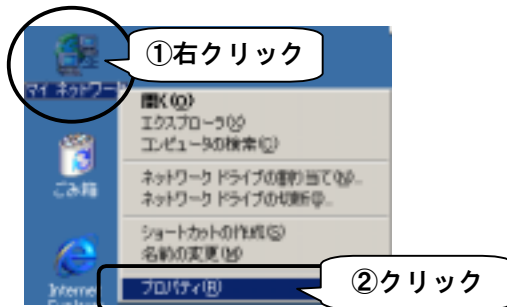
本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

《インターネット編》 ダイヤルアップ接続の設定

インターネットに接続するには、ダイヤルアップ接続の設定が必要です。

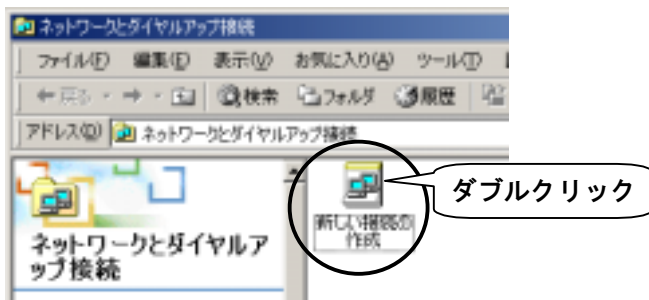
1

[マイネットワーク]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



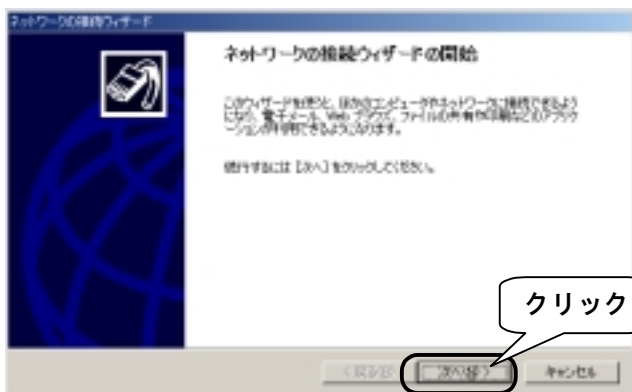
2

[ネットワークとダイヤルアップ接続]画面の[新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。



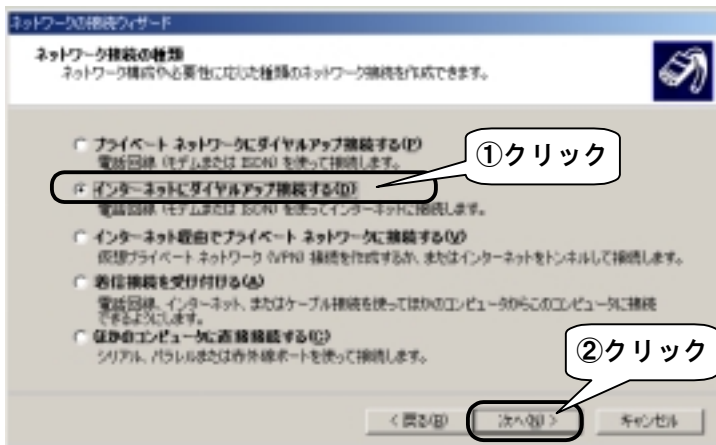
3

[次へ]ボタンをクリックします。



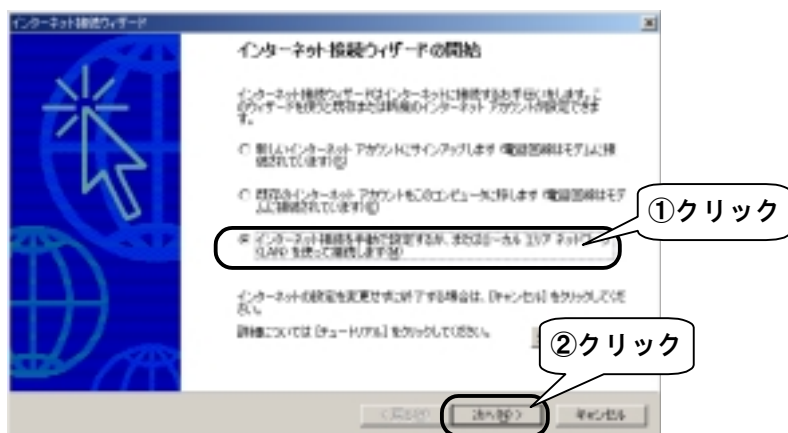
4

[インターネットにダイヤルアップ接続する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。



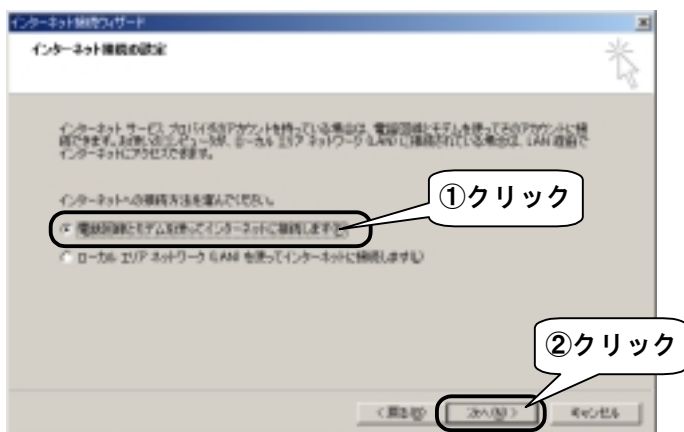
5

[インターネット接続を手動で設定するか、……]をクリックし、
[次へ]ボタンをクリックします。



6

[電話回線とモデムを使ってインターネット接続します]をクリックし、
[次へ]ボタンをクリックします。

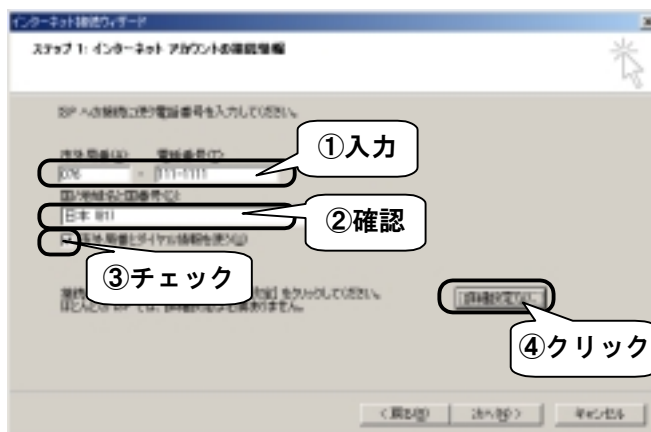


7

接続先(プロバイダ)の電話番号を入力し、国名が日本になっていることを確認します。

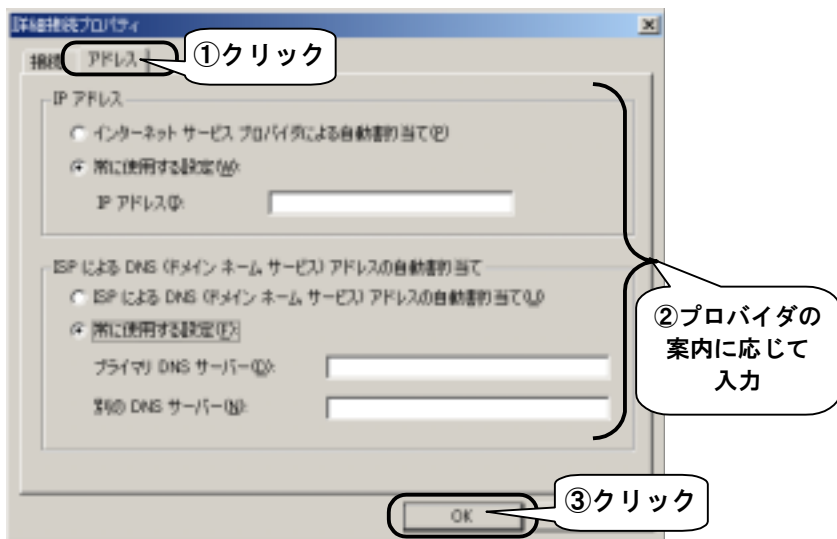
[市外局番とダイヤル情報を使う]をチェックします。

設定後、[詳細設定]をクリックします。



8

[詳細接続プロパティ]画面の[アドレス]タブをクリックし、プロバイダの案内に応じて[IP アドレス]や[DNS サーバー]を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

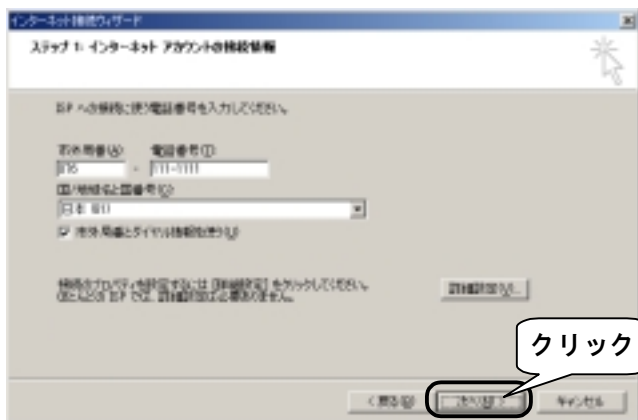


9

[インターネット接続ウィザード]画面に戻りますので、[次へ]ボタンをクリックします。

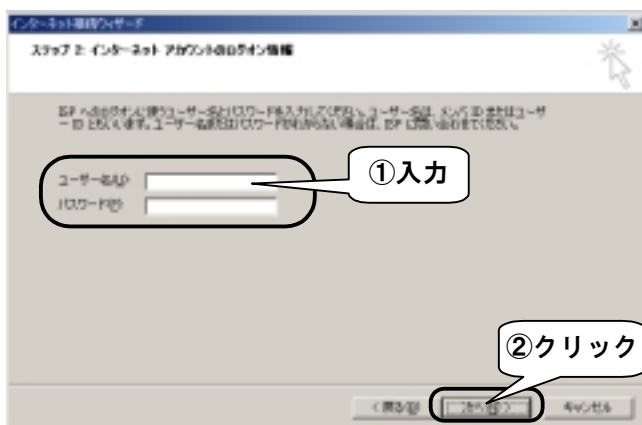
10

[次へ]ボタンをクリックします。



11

プロバイダから通知された[ユーザー名]や[パスワード]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

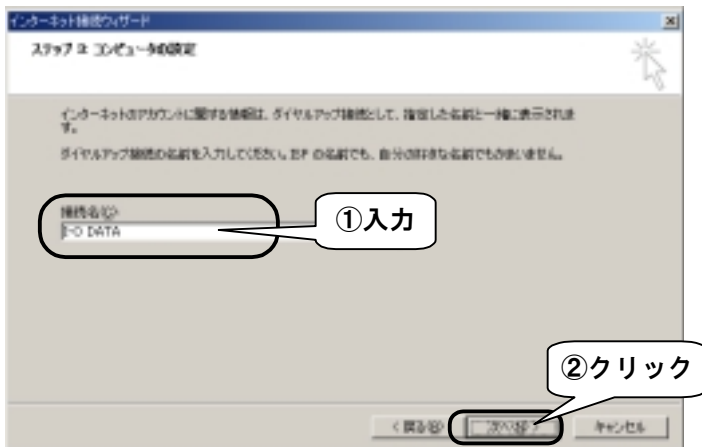


注意！

パスワードは「****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。

12

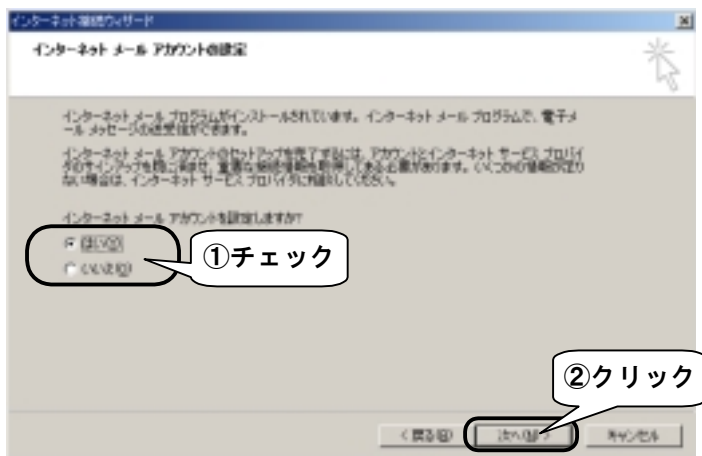
接続名(任意)を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。



13

メールを設定する場合は、[はい]をチェックし、[次へ]ボタンをクリック後、手順 14 へお進みください。

メールを設定しない場合は、[いいえ] をチェックし、[次へ]ボタンをクリック後、手順 15 (P29)へお進みください。



メールについての設定を行います。

設定内容については、契約したプロバイダからの案内をご覧ください。（入力する内容など、詳細についてはプロバイダにご確認ください。）

The image displays four overlapping screenshots of the 'インターネット接続ウィザード' (Internet Connection Wizard) window, showing different steps of the email configuration process.

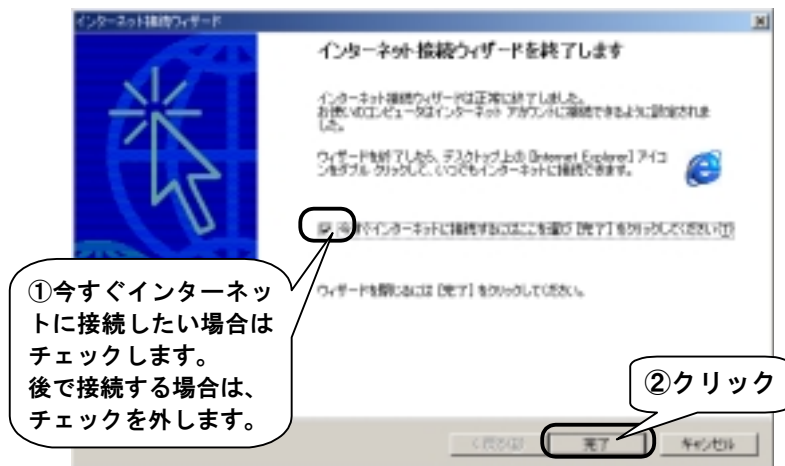
- Top Window (Step 1):** Titled 'インターネット接続ウィザード'. It contains the text: '電子メールを通信するときに、宛先や送信元などのアドレスが表示されます。表示したい宛先を入力してください。' (When communicating email, addresses such as destination and sender are displayed. Enter the address you want to display.) Below this is a text box labeled '表示名(例: Taro Chiba)' (Display Name (Example: Taro Chiba)).
- Second Window (Step 2):** Titled 'インターネット接続ウィザード' and 'インターネット電子メール アドレス'. It contains the text: '電子メールのアドレスは、送受信ユーザが宛先に電子メールを送信する際に使います。' (The email address is used when the sending/receiving user sends email to the destination.) Below this is a text box labeled '電子メール アドレス(例: t-choiba@nifty.com)' (Email Address (Example: t-choiba@nifty.com)).
- Third Window (Step 3):** Titled 'インターネット接続ウィザード' and '電子メール サーバー名'. It contains the text: '受信メール サーバーの種類(例: POP3)' (Type of receiving mail server (Example: POP3)). Below this is a text box labeled '受信メール POP3, IMAP または HTTP サーバーID' (Receiving mail POP3, IMAP, or HTTP server ID). Further down, it says: 'SMTP サーバーは、電子メールを送信するときに使用するサーバーです。送信メール のSMTP サーバーID' (SMTP server is the server used when sending email. Sending mail SMTP server ID).
- Bottom Window (Step 4):** Titled 'インターネット接続ウィザード' and 'インターネット メール ログイン'. It contains the text: 'インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。' (Enter the account name and password provided by the Internet service provider.) Below this are text boxes for 'アカウント名(例: ...)' (Account Name (Example: ...)) and 'パスワード(例: ...)' (Password (Example: ...)). There is a checkbox labeled 'パスワードを記憶する(例: ...)' (Remember password (Example: ...)). At the bottom, there is a checkbox labeled 'セキュリティで保護されたパスワード(例: ...)' (Secure password (Example: ...)) and a checkbox labeled 'パスワードを記憶する(例: ...)' (Remember password (Example: ...)).

今すぐインターネットに接続したい場合

[今すぐインターネットに接続……]をチェックしたまま、[完了]ボタンをクリックします。この後、次ページ[すぐにインターネットに接続する場合]を参照してください。

後でインターネットに接続する場合

[今すぐインターネットに接続……]のチェックを外して、[完了]ボタンをクリックします。インターネットへの接続は、33 ページ[後でインターネットに接続する場合]を参照してください。



これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。次ページ【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

《インターネット編》 インターネットを楽しもう

ここでは、【ダイヤルアップ接続の設定】(P22)で設定した「ダイヤルアップ接続」でインターネットサービスに接続する手順について説明します。

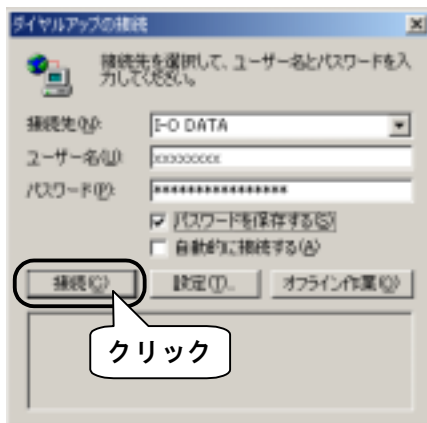
すぐにインターネットに接続する場合

ここでは、前ページの[インターネット接続ウィザード]画面で[今すぐインターネットに接続……]をチェックした場合のインターネット接続手順について説明します。

1

[ダイヤルアップの接続]画面が表示されます。

[接続先][ユーザー名][パスワード]は設定した値が入っていますので、[接続]ボタンをクリックすれば、指定した電話番号にかかりプロバイダと通信を開始します。

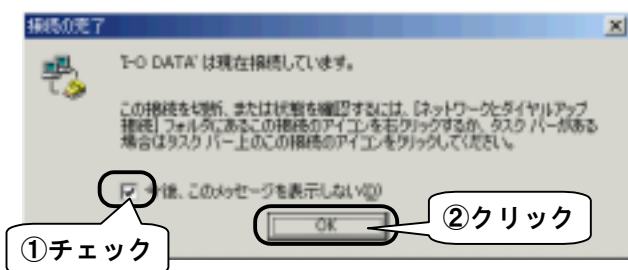


注意！

1. パスワードは「*****」と表示されます。表示は入力した文字数に関係なく16文字数分ほどの「*」が表示されます。(Windows 2000の仕様です。)
2. [パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。
セキュリティの必要に応じてお使いください。
3. [自動的に接続する]をチェックすると、次回より[ユーザー名][パスワード]を入力する画面は表示されずに、ダイヤルアップ接続をダブルクリックするだけでインターネットに接続できるようになります。

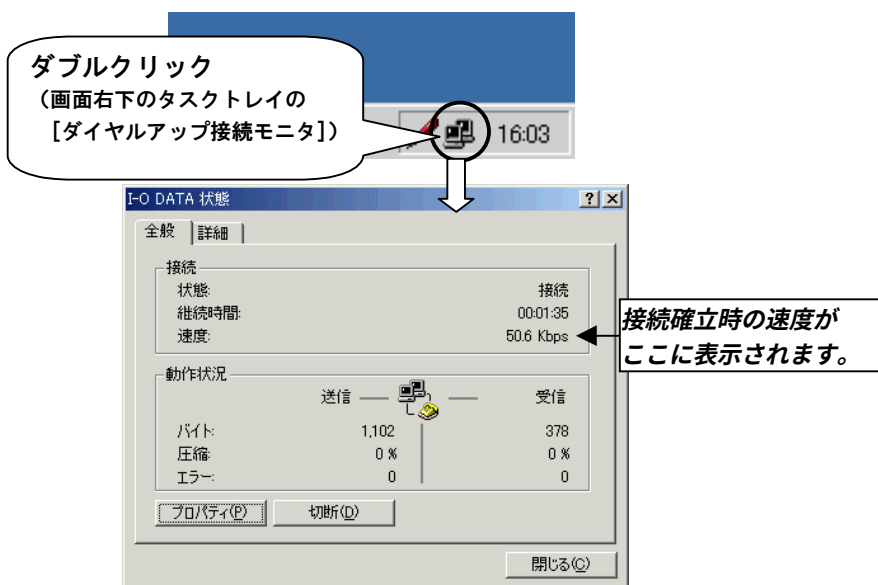
2

以下の画面が表示された場合は、[今後、このメッセージを……]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。



3

接続が完了すると、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが追加されます。「ダイヤルアップ接続モニタ」アイコンをダブルクリックすれば接続状況を確認できます。



「回線が使用中です」などと表示された場合は…

【困ったときには】
本書 P39 をご参照ください。

4

ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。
接続中は、常時[ダイヤルアップ接続モニタ]が表示されています。



参考

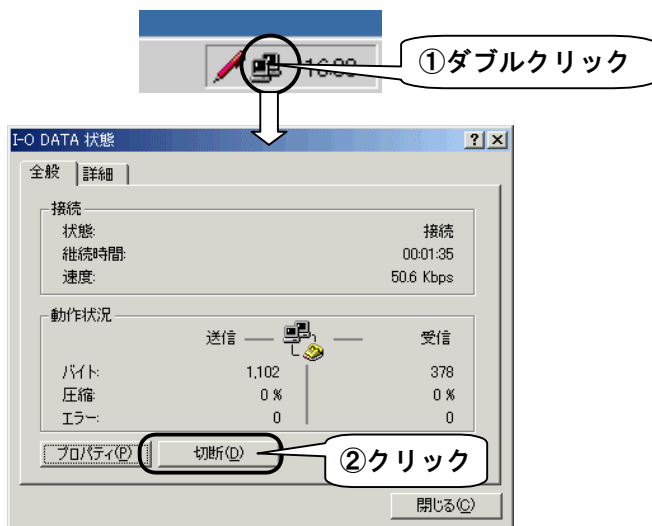
Internet Explorer（以下 IE と略します）の場合、IE の[プロパティ]→[接続]を開いて、設定したダイヤルアップを選択することができます。

その場合は、IE を起動するだけでダイヤルアップの接続画面が表示されます。

5

インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えます。



注意！

ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。

必ず[切断]ボタンをクリックし、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えることをご確認ください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

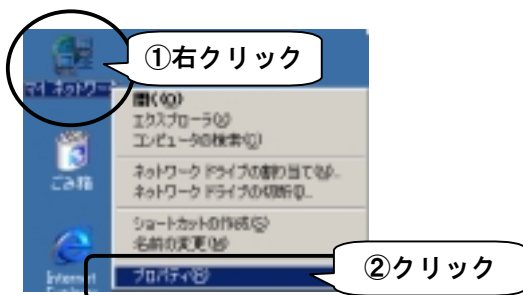


後でインターネットに接続する場合

ここでは、P22【ダイヤルアップ接続の設定】で作成した【ダイヤルアップ接続】からインターネットに接続する手順について説明します。

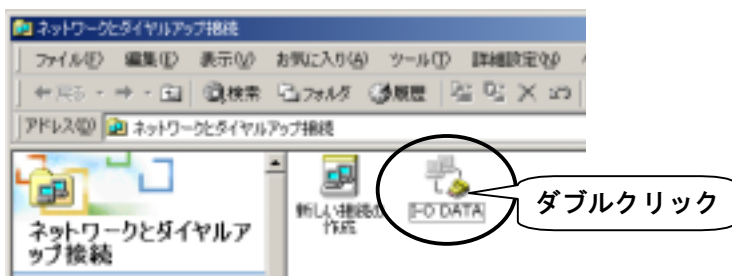
1

【マイネットワーク】を右クリックし、メニュー内の【プロパティ】をクリックします。



2

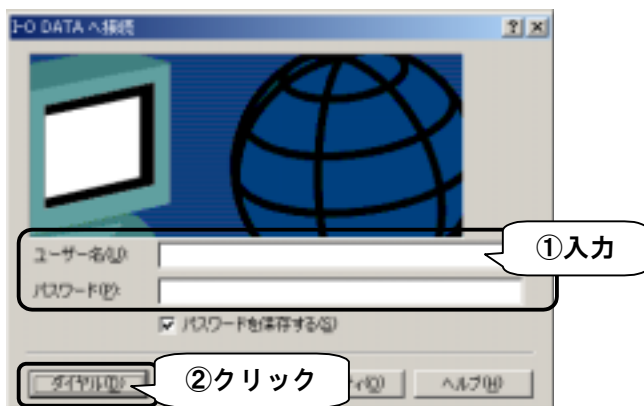
【ネットワークとダイヤルアップ接続】画面内の設定したダイヤルアップ接続をダブルクリックします。



3

プロバイダから通知された[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号にかかりプロバイダと通信を開始します。

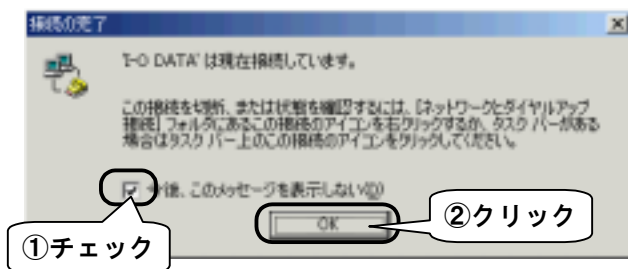


注意！

1. パスワードは「*****」と表示されます。
2. [パスワードの保存]をチェックすると、次回からパスワードが「*」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。
セキュリティの必要に応じてお使いください。

4

以下の画面が表示された場合は、[今後、このメッセージを……]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

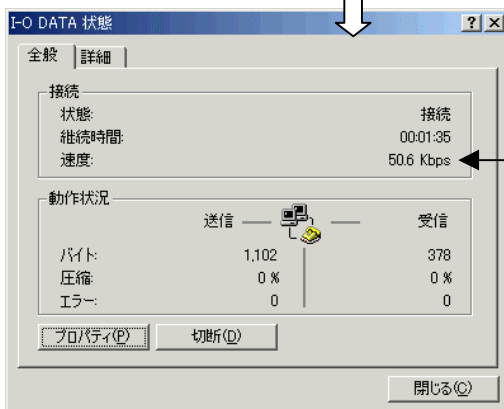


5

接続が完了すると、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンが追加されます。[ダイヤルアップ接続モニタ]アイコンをダブルクリックすれば接続状況を確認できます。

ダブルクリック

(画面右下のタスクトレイの
[ダイヤルアップ接続モニタ])



接続確立時の速度が
ここに表示されます。



「回線が使用中です」などと
表示された場合は…

【困ったときには】
本書 P39 をご参照ください。

6

ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと[ダイヤルアップ接続モニタ]が表示されています。



参考

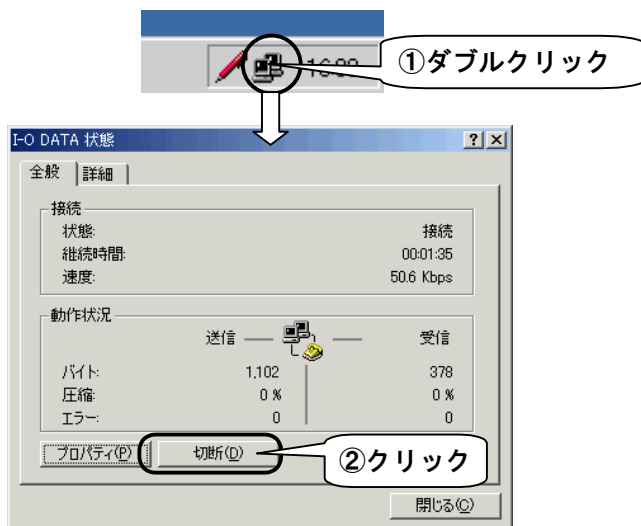
Internet Explorer(以下 IE と略します)の場合、IE の[プロパティ]→[接続]を開いて、設定したダイヤルアップを選択することができます。

その場合は、IE を起動するだけでダイヤルアップの接続画面が表示されます。

7

インターネット利用が終わったら、画面右下の[ダイヤルアップ接続モニタ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えます。



注意!

ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。

必ず[切断]ボタンをクリックし、[ダイヤルアップ接続モニタ]が消えることをご確認ください。

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。



困ったときには

● インストール時のトラブル

USB-DM560 の USB A コネクタがパソコンの USB A ポートに入らない

原因	USB-DM560 の USB A コネクタの向きが正しくない。
対処	コネクタの向きを変えて、もう 1 度、差し込んでください。向きが一致していればコネクタを差し込むのに、そんなに力は要りません。

原因	USB-DM560 のコネクタが違う。
対処	USB-DM560 の専用 USB ケーブルは、両端のコネクタの形状が違います。パソコンの USB A ポートに差し込むのは平べったい方です。 四角い方のコネクタは USB-DM560 の USB B ポートに差し込みます。

USB-DM560 を接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない

原因	パソコンの USB A ポートに、USB-DM560 の USB A コネクタがきちんとささっていない。
対処	パソコンの USB A ポートに最後まできちんと USB-DM560 の USB A コネクタがささっていることを確認してください。

原因	すでにインストール済みである。
対処	USB-DM560 を 1 度インストールすると、USB-DM560 の USB A コネクタを抜き差ししても「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面は表示されません。USB A コネクタを差し込むだけで接続準備完了となります。

原因	USB ハブに AC アダプタから電源が供給されていない。
対処	USB ハブをご使用になる場合は、必ず、AC アダプタを USB ハブに接続し、電源を供給してください。

デバイスマネージャによる確認で、「I-O DATA USB-DM560」が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている

原因	パソコンの USB A ポートに、USB-DM560 の USB A コネクタがきちんとささっていない。
----	--

対処	パソコンの USB A ポートに最後まできちんと USB-DM560 の USB A コネクタがささっていることを確認してください。
----	--

原因	正しくインストールされていない。
----	------------------

対処	P16「インストールされた情報を削除する場合」を実行し、いったん、サポートソフトをアンインストールします。その後、P3「サポートソフトのインストール」を参照して、インストールをやり直してください。
----	--

モデムの確認で、[モデムの照会]ボタンを押したとき、「ポートが開けません」と表示されたり、応答がない

原因	パソコンの USB A ポートに、USB-DM560 の USB A コネクタがきちんとささっていない。
----	--

対処	パソコンの USB A ポートに最後まできちんと USB-DM560 の USB A コネクタがささっていることを確認してください。
----	--

原因	正しくインストールされていない。
----	------------------

対処	P16「インストールした情報を削除する場合」を実行し、いったん、サポートソフトをアンインストールします。その後、P3「サポートソフトのインストール」を参照して、インストールをやり直してください。
----	---

● インターネット接続時のトラブル

「回線が使用中です」と表示される

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 原因 | USB-DM560 の TEL コネクタに接続した電話機が使用中である。 |
| 対処 | [OK] ボタンを押し、電話機を切ってから、もう 1 度接続してください。 |

- | | |
|-----------|---|
| 原因 | ダイヤル方法（トーンかパルスか）が違っている。 |
| 対処 | [OK] ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンを押します。
お使いの電話回線をご確認ください。わからない場合はお近くの NTT にお問い合わせください。
ダイヤル方法が確認できたら、「モデムの確認と設定」の手順 3（P11）で正しく設定してください。 |

「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」と表示される

- | | |
|-----------|---|
| 原因 | 接続先の電話番号が違っている。 |
| 対処 | [OK] ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンを押します。
接続アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。 |

- | | |
|-----------|--|
| 原因 | 接続先のアクセスポイントが混雑している。 |
| 対処 | [OK] ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンを押します。
時間をおいてももう 1 度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。 |

「ダイヤル先のコンピュータから切断されました」と表示される

- | | |
|-----------|---|
| 原因 | 接続先の電話番号が違っている。 |
| 対処 | [OK] ボタンを押し、接続画面が表示されたら、[キャンセル] ボタンを押します。
接続アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選び、正しい電話番号を（市外局番を含めて）入力してください。 |

- | | |
|-----------|--|
| 原因 | ユーザー名やパスワードが違っている。 |
| 対処 | [OK] ボタンを押し、接続画面が表示されたら、もう 1 度、ユーザー名やパスワードを入力し、[OK] ボタンを押します。アルファベットの太文字や小文字に注意してください。 |

「ユーザーログオン」の画面が表示され、ユーザー名やパスワードを入力しても接続できない

原因 ユーザー名やパスワードが違っている。

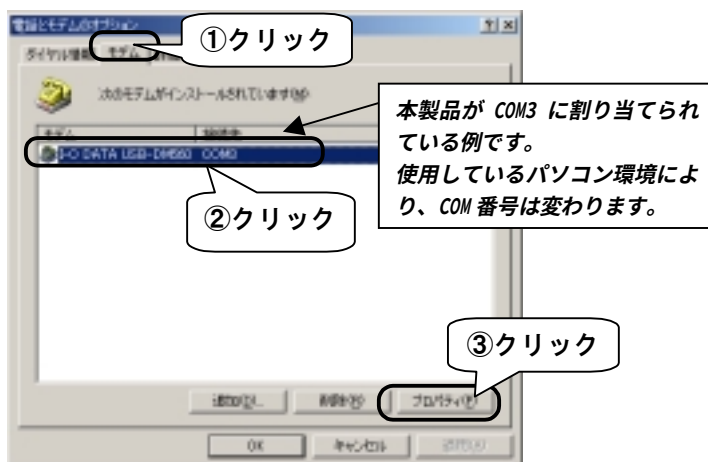
対処 アルファベットの太文字や小文字に注意してユーザー名やパスワードを入力し、[OK]ボタンを押します。
それでも「ユーザーログオン」画面が表示されるようなら、プロバイダにユーザー名やパスワードを確認してください。

V.90 または K56flex 対応プロバイダ等との通信中に回線が切れる

対処 次のATコマンドを設定し、接続速度の上限を下げてください。
電話回線の状況・品質によっては接続速度を下げた方がパフォーマンスが上がる場合もあります。（このような場合、本製品に接続している電話回線の状況・品質が影響していると考えられます。）

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
- 2 [電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。

- 3 [モデム]タブをクリックし、[I-O DATA USB-DM560]、続けて[プロパティ]をクリックします。

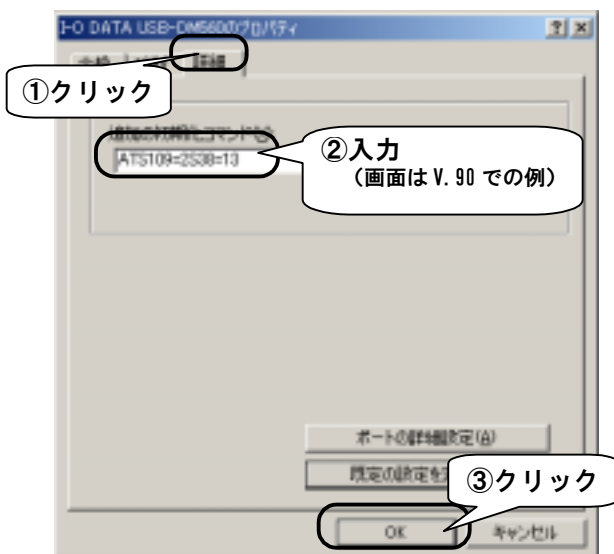


4

[詳細] タブをクリックし、[追加の初期化コマンド]のところに以下のように入力し、[OK] ボタンをクリックすれば AT コマンドが追加設定されます。

「ATS109=2S38=13」 (V. 90 で 42666bps の場合)

「ATS109=0S38=8」 (K56flex で 44000bps の場合)



普段接続されている速度から数ランク落として設定します。

設定方法は以下の通りです。

- V. 90 で接続する場合
ATS109=2S38=xx (xx に数値を入れることで速度を決定する)
- K56flex で接続する場合
ATS109=0S38=xx (xx に数値を入れることで速度を決定する)
- 33600bps 以下で接続する場合
ATS38=0

xx に入る数値と回線速度については、オンラインヘルプの「S レジスタ (モデム) 一覧」の S38 の説明をご覧ください。

接続状況を見ながら、適切な速度を設定してください。

5

各画面で[OK] ボタンをクリックしながら、画面を閉じます。

その他のトラブル

通信ソフトが起動できない

原因	通信ソフトの起動方法などが正しくない。
対処	インターネットへの接続が正しく動作すれば、通信ソフト側の問題が考えられます。通信ソフトの取扱説明書などをご参照ください。

AT コマンドを使用して通信できない

原因	ATコマンドに対するリザルトコードにより、エラー障害の切り分けができます。リザルトコードとは、エコーバックと呼ばれる応答信号のことです。
対処	リザルトコードの種類によって、以下のように、エラーの回復を試みてください。 ※ATコマンドでの操作を行うためには、別途ターミナルソフトをご用意いただく必要があります。（次ページ参照）



参考

本製品でサポートしている AT コマンドに関しては、「サポートソフト」CD-ROM ディスク内の ¥manual フォルダ内の Readme.txt ファイルを参照してください。

1. ERROR

ATコマンドに誤りがあります。マニュアルをよく読んで、パラメータなどをチェックしてください。

2. NO CARRIER

ダイヤルコマンドを入力した時このエコーが表示された時は、回線が接続されていないか、こちらの呼び出しに対して接続先が応答信号を返さない状態です。まず、モジュラーケーブルが本製品やモジュラージャックに正しく接続されているかを確認してみてください。

3. NO DIALTONE

ダイヤルコマンドを入力した時このエコーが表示された時は、トーン信号が検出されていない状態です。お使いの電話回線がプッシュ回線かダイヤル回線かを確認してください。

補足1:AT コマンドによる通信の動作確認

通信できない、あるいはモデムが正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、例えば、以下の手順のように Windows 標準の「ハイパーターミナル」で操作をたすことができます。

1

「ハイパーターミナル」を起動します。

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]
を順にクリックします。

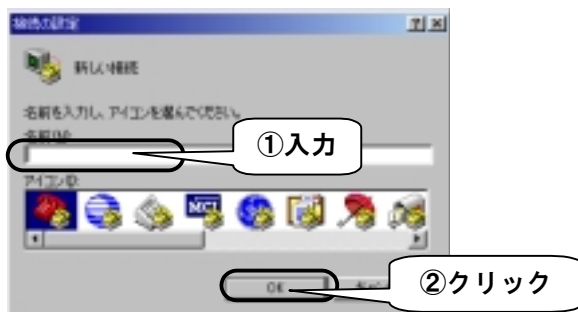


参考

メニュー内に「ハイパーターミナル」が無い場合は、[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]の[Windows ファイル]タブから追加してください。

2

[名前]に適当な名前（例：TEST）を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



3

以下を設定して[OK] ボタンをクリックします。



4

[キャンセル]ボタンをクリックします。



5

[ハイパーターミナル]画面が表示されます。

6

[ハイパーターミナル]画面内に AT コマンドを入力して通信動作を確認することができます。

以下の画面例は、以下の AT コマンドを入力した例です。

※これらの文字は、半角文字で入力する必要があります。

AT 
 AT&F 
 AT&W 
 ATX3 
 ATDTxxxxxxxx 

(xxxxxxxxはプロバイダ等の電話番号を入力します。

使用回線がパルス(ダイヤル)の場合は、

「ATDPxxxxxxxx」です。)

